

令和5年度草の根文化無償資金協力 供与式の実施 カスカヴェル文化体育協会多目的施設建設計画

2025年2月8日、在クリチバ日本国総領事館は、パラナ州カスカヴェル市において、令和5年度草の根文化無償資金協力により建設された「カスカヴェル文化体育協会多目的施設」の供与式を実施しました。

供与式には三井総領事、パウロ・ミナキ/カスカヴェル文化体育協会会長、ルイス・ニシモリ下院議員、エンリッケ・メカボ/カスカヴェル市副市長（市長代理）、カルロス・シャビエル/カスカヴェル市議会議員、ロンディネリ・バチスタ/同、カルロス・カネコ/西部パラナ運動連盟会長ほか、約80人が出席しました。

供与式において、ミナキ会長は、我々の長年の夢が叶い多目的施設が完成し、供与式を開催できることを大変うれしく思う、日本政府に改めて感謝したいと述べました。メカボ副市長は、カスカヴェル文化体育協会の活動は素晴らしく、カスカヴェル市を発展させ同市の名前を広めてくれるものである、支援いただいた日本政府に感謝したいと述べました。また、ニシモリ下院議員は、長年カスカヴェル文化体育協会の活動を見てきた立場から、本多目的施設も大いに活用されると確信している、日本政府はこれまでパラナ州において、教育、健康、文化の分野で多大な支援を行ってきた、これだけ多くの支援を行っている国は日本以外にはない、改めて日本政府に感謝したいと述べました。

三井総領事は、本多目的施設の完成により、和太鼓を筆頭に日本文化発信の機会がさらに増えることを期待している、若い世代に日本文化を伝承していくことは重要であり、多目的施設がそれらの活動に活用されることを祈念すると述べました。

「草の根文化無償資金協力」プログラムは、NGOや地方公共団体等の非営利団体に対し、文化・高等教育振興に使用される資機材の購入や施設の整備を支援することを通じて、開発途上国の文化・教育の発展及び日本とこれら諸国との文化交流を促進し、友好関係及び相互理解を増進させることを目的としています。



多目的施設外観



多目的施設内部



記念プレート除幕



記念プレート



三井総領事挨拶



メカボ/カスカヴェル副市長（市長代理）
挨拶



ニシモリ下院議員挨拶



記念撮影

本件に関するお問い合わせ：
在クリチバ日本国総領事館 広報文化班
メール：cultura@c1.mofa.go.jp